

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立小立野小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	43.0	34.0	16.0	7.0	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	65.0	28.0	5.0	1.0	0.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	61.0	27.0	8.0	3.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	40.0	40.0	14.0	6.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	34.0	41.0	19.0	6.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	85.0	11.0	3.0	1.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	80.0	16.0	3.0	1.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	64.0	22.0	9.0	4.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	36.0	38.0	19.0	7.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	66.8	23.0	7.8	1.1	1.3
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	64.9	24.1	7.6	2.4	1.1
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	60.3	18.9	18.9	0.9	1.1

②指導改善の具体策

【英語科】

・英語で質問したり答えたりできると回答している児童が比較的に少ないので、場面によってどんな英語を使うのか考えさせ実際にペアやグループでスモークトークをする活動などを普段の授業に取り入れる。

【デジタル科】

・ICTで深く広く学習するために、探究的な単元を構成し、児童自らが意図を持ってICTを活用していけるような学習環境を設定する。そのために、単元導入で、興味や疑問を持ったり、課題を自ら設定したりするなど、児童が単元を通して主体的に活動ができるようにする。

③学校関係者評価

英語科問3の肯定的解答の割合は、昨年よりも7ポイント上昇し、問4の肯定的回答も、昨年より8ポイント上昇しているため、授業改善によって学習内容の理解が向上していると考えられる。しかし、問1の肯定的解答の割合は去年よりも10ポイント下がっている。児童が英語を楽しみながら学習できるよう、授業を工夫してほしい。

ICTのいろいろな活用場面を児童に教えてほしい。5、6年生は生成AIを使って学習する場面があるが、生成AIの適切な使い方をしっかり指導し、生成AIの回答を鵜呑みにせず、あくまで参考にするようにしてほしい。